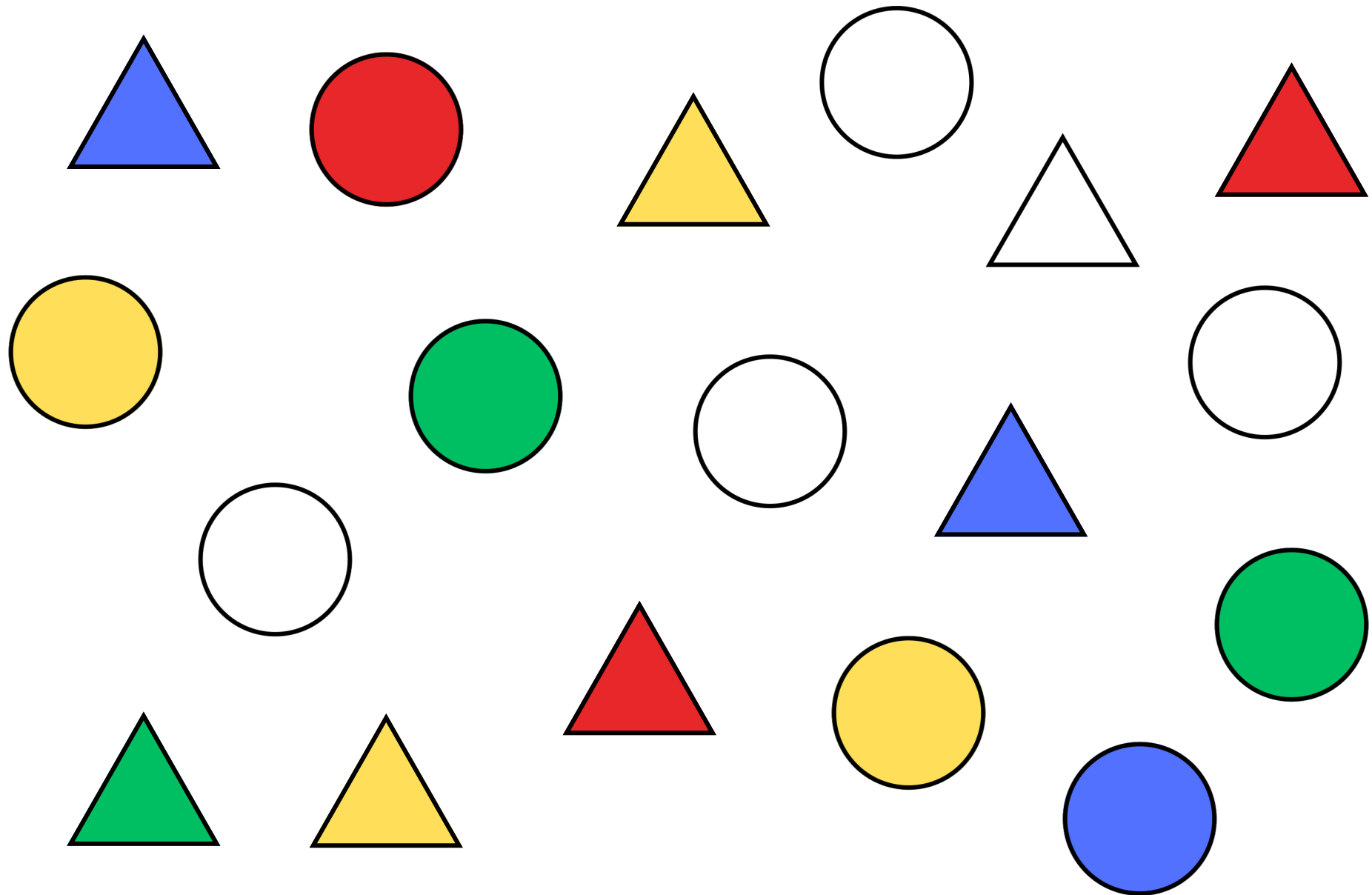


問題12 絵を見て覚えましょう。



ポイント解説 ～絵の記憶～

何があるかを記憶して答えるタイプの問題です。このような問題では、どこを覚えればいいかを事前に説明されることがほとんどありません。そのため、全体と部分にそれぞれ着目して、様々な観点から絵を把握しておく必要があります。例題では、まず全体を見て、クマ・キリン・カバがいることや、それぞれの動物の位置や向きを確認しましょう。このとき、例えば「クマがカバとキリンに出会って、カバが挨拶している」のように、意味のあるまとまりとして捉えると絵を記憶しやすくなる場合があります。全体を確認できたら、その後に1頭ずつ動物の特徴を観察していくのが一般的な思考の流れです。例題は、動物の種類を覚えておくだけなので簡単に解けると思います。しかし、難易度が高くなると、絵の細部まで観察して記憶しなければなりません。もし細かいところを観察するのが苦手なお子さまは、指差ししながら観察する方法がおすすめです。指差ししながら観察することで視点が定まりやすく、観察する対象を記憶しやすくなります。

問題29 前のページと同じ形になるように、点を繋ぎましょう。

